

令和8年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山大学

代表学生：山口藍月

指導教員：野澤豊一

研究題目 (応募部門)	砺波市の観光事業における発信のための基礎調査（B）
研究概要	4月下旬から5月初旬に開催されるとなみチューリップフェアは毎年大きな賑わいを見せている。しかし近年、来場者の集中によるオーバーツーリズムが課題となっている。一方、砺波市には大門素麺のような特産品、民具展示室といった珍しい施設、となみ夜高祭や獅子舞などの地域文化を生かした祭りといった魅力的な観光資源が存在するが、となみチューリップフェアほど注目されていないのが現状である。 そこで本研究ではチューリップフェアに集中する観光客を分散させることを目的とし、他の観光事業の情報発信を提言する。地元住民や観光客への聞き取り調査を通して現状と課題を明らかにし、成果報告会を実施することで、砺波市観光の新たな魅力を広く発信するための基盤づくりを目指す。
これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)	今年度の4月から隔週のペースで砺波市を訪れ、地域住民を対象にした聞き取り調査などを中心に、各々のテーマに沿って現地調査を実施した。となみ夜高祭や、子供歌舞伎、獅子舞などの祭事、商店街の活性化、大門素麺の製造、相撲文化にまつわる伝聞など、テーマはメンバーによって様々である。8月上旬には集中調査という形で1週間にわたって合宿を行い、さらに理解を深めることができた。今後の活動予定としては、これまで各人が調査したことをまとめる調査報告書の執筆を行い、年度内に調査報告書を発行する予定である。また各人の調査の過程で気がついた提案に繋げられそうな魅力や課題をとりまとめ、本課題の成果発表に向けて年明けから本格的に準備をしていく予定である。
当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。	当初は陶芸や酒造業などの伝統産業も調べる計画であったが、実際にフィールドワークを進めるなかで、民具や大門素麺などのテーマに変更した部分がある。



図1 砺波民具展示室で行われた視聴覚機材の展示会



図2 砺波市狐島の獅子舞



図3 砺波市出町の子供歌舞伎